

ナツツバキ?に異変

小嶋祥三

ナツツバキ?は順調に成長していた。ところが、7月7日の猛暑の日(隣の練馬区で37.7℃だった)に、芽を含め18枚出ている葉の半数近くが、茶色や黒に変色しやられてしまった。その時の写真を下に載せる(写真左)。その日は午前中に外出した。そのとき、ナツツバキ?は強い陽射しのせいだろうか、葉が垂れていた。夕方になれば、元に戻るだろうと思っていた。ところが、夕方に葉に異変が起こっているのをみつけた。虫がたかっている様子はいなかったので、強すぎる陽射しによるものと推測した。上部の葉の被害が大きかったので、また、芽もやられていたので、もうダメかと思っていたら、新しい芽がでて、それは立派に育っている(写真右)。前回の写真と比べると、随分と背が伸びた。どんな木になるのだろうか、花はつけるのだろうか、なにやら、子どもを育てているような心境だ。最近、カナブンの類の死骸にアリがたかっているのを見かける。この木がナツツバキならば、親は根をカナブンの幼虫に根を喰われて枯れてしまった。注意しないとイケない。

